

大阪府 大阪市識字・日本語教育基本方針 概要版

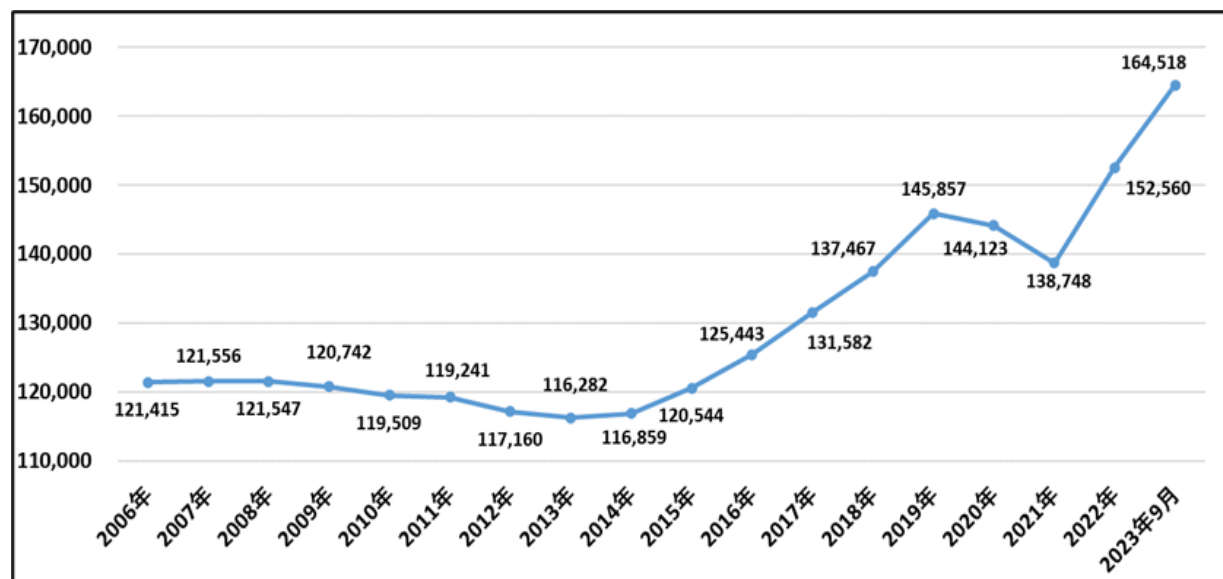
きょういく い いんかい じ む きょくしょうがいがくしゅうたんとう
教育委員会事務局 生涯学習担当

目的と位置づけ

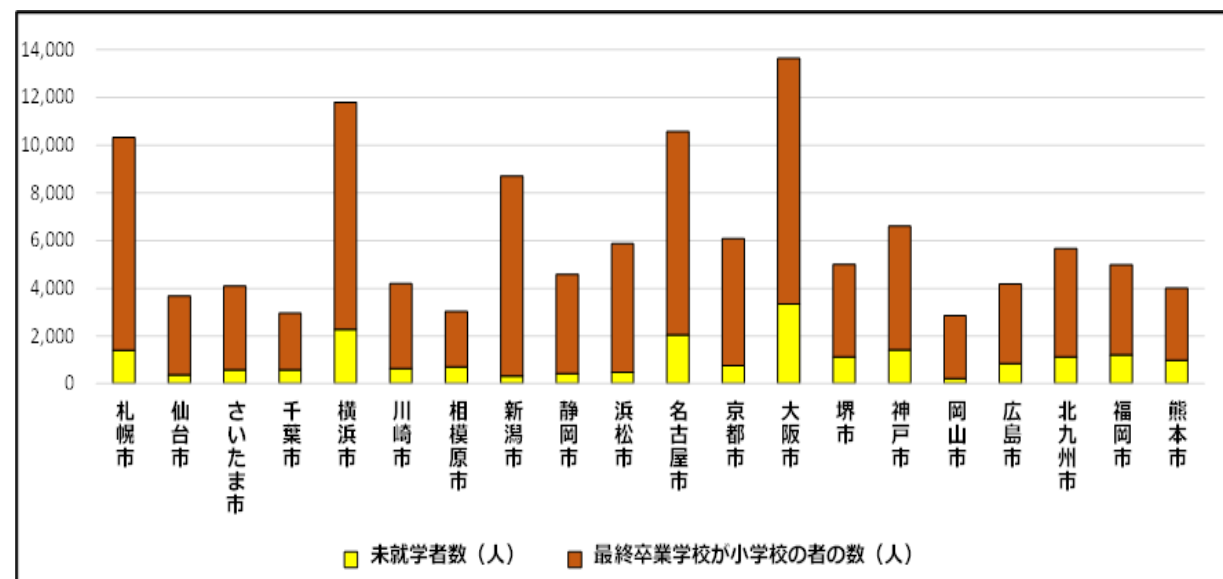
【目的】本市の社会教育領域における識字・日本語教育の充実に向け、今後のめざすべき姿と、その実現に向けた施策の基本的な方向性を示すことを目的とする。

【位置づけ】「日本語教育推進法」に基づき、「大阪市多文化共生指針」「第4次生涯学習大阪計画」と理念を共有し、「大阪市識字施策推進指針」「教育機会確保法」の理念も踏まえて策定する。

外国人住民人口の推移



未就学者数及び最終卒業学校が小学校の者の人数



目標

読み書きや日本語の会話に不自由している人々が、言葉を学ぶことで日常生活を円滑に営むとともに、意思表示や交流を通して自己肯定感を高め、地域や社会とつながり、関わりを深めることができる。

識字・日本語学習の場で得た参加者の「学び」や「気づき」を地域や社会に発信・共有することにより、多様な文化や価値観に対する市民の理解を深め、認め合う意識を醸成することで、豊かな共生社会の実現に資する。

めざすべき姿

- ① 人権に根ざした言語習得機会の保障
- ② 自己実現の場、社会参画のきっかけの場としての識字・日本語学習
- ③ 多様な価値観や文化が尊重される共生社会

施策の対象

読み書きや日本語の会話が原因で、日常生活を営むことに困難さを感じている方

※本市立小・中学校における外国につながる児童生徒への日本語指導については、「大阪市多文化共生指針」及び

「大阪市教育振興基本計画」に基づき実施するため、本基本方針の対象外とする。

ただし、学校教育での日本語習得支援の対象となっていない子ども・青少年については、本方針の対象とする。

施策の方向性

【方向性1】識字・日本語学習の機会や場の充実

- ①入門・基礎レベルの日本語学習機会の充実
- ②交流を通じた識字・日本語学習機会の充実
- ③多様なニーズに対応した識字・日本語学習環境の整備
- ④識字・日本語学習機会に関する情報発信・情報提供の強化

- ・はじめて日本語を学ぶ人に対する体系的な学習機会の充実
- ・交流を通じた識字・日本語学習機会の充実
- ・民間の日本語学習機会・外国人支援団体やNPOなどとの連携
- ・さまざまな曜日・時間帯・場所等での学習機会の展開
- ・ICT機器の活用や一時保育の実施など学習参加の制約を取り除く工夫
- ・やさしい日本語や多言語の資料、ふりがな表記、ホームページ・SNS等の活用・充実
- ・民間の支援団体や外国人コミュニティ、地域や学校を通じた適切な情報発信・情報提供

【方向性2】識字・日本語教育の充実に向けた人材養成

と教室運営支援

- ①識字・日本語教育を担う人材の確保・養成
- ②識字・日本語教室の円滑な運営に向けた支援

- ・地域識字・日本語教育を担う人材確保・養成に向けた取組
- ・活動を希望する人とボランティアを求める教室とがつながる仕組みづくり
- ・日本語教師の資格取得中の方やボランティア活動に関心のある青年層など新たな人材の確保
- ・教室での人権の視点に関する継続的な情報共有や研修機会の充実
- ・ボランティアとして活動中の人に対するスキルアップ講座の実施や研修の情報提供

【方向性3】^{ほうこうせい} 識字・日本語学^{しきじ にほんごがくしゅう} 習^{ひろ} から広がる 共^{きょうせいしゃかい} 生社会づくり

①^{がくしゅうしゃ} 学 習 者^{せいかつ し えん} の生活支援・生活相談^{せいかつそうだん} との接続^{せつぞく}

②^{しきじ} 識字・日本語 教 室^{にほんご きょうしつ} をきっかけとした参加者^{さん か しゃ} の学び^{まな} や気づき^き

③^{ゆた} 豊かな 共^{きょうせいしゃかい} 生社会^{し く} につながる仕組みづくり

- ・^{じょうほうていきょう} 情 報提 供^{けんしゅう} や研 修^{じっ し} の実施などによる 教 室^{きょうしつ} と相談窓口^{そうだんまどぐち} の接続^{せつぞく} の強 化^{きょう か}
- ・参加者^{さん か しゃ} が 教 室活動^{きょうしつかつどう} で得た「学び」^え 「気づき」^{まな} を地域^き や社会^{ち い き} での活動^{しゃかい} に活かせる仕組みづくり^{かつどう}
- ・^{しきじ} 識字・日本語学 習^{にほんごがくしゅう} の場と、地域^ば や社会^{ち い き} とが関わる仕組みづくり^{しゃかい}

【方向性4】^{ほうこうせい} 識字・日本語教 育^{しきじ にほんご きょういく} の推進^{すいしん} に向けた体制^む の整備^{たいせい}

①^{しきじ} 識字・日本語 教 育^{にほんご きょういく} の推進^{すいしん} に向けた本市体制^む の構築^{ほん し たいせい こうちく}

②^{しきじ} 識字・日本語 教 育^{にほんご きょういく} に関連する多様な主体^{かんれん た よう しゆたい} との連携^{れんけい}

- ・^{じ どう} 児 童^{せい と} ・生徒^{にほんご} への日本語指導^{し どう} や中 学校夜間学 級^{ちゅうがっこう や かんがつきゅう} での取組^{とりくみ} との連携^{れんけい}
- ・^{く やくしよ} 区役所^{かんけい ぶ} と関係部 局^{きよくどう} 等との連携^{れんけい} ・協 力^{きょうりよく} した取組^{とりくみ} や区独自の取組^{く どの じ} の充 実^{とりくみ}
- ・「^{お お さ か} OSAKA外国人材受入促進^{がいこくじんざいうけいれそくしん} ・共 生推進^{きょうせいすいしん} 協 議会^{ぎ かい}」の方向性^{ほうこうせい} を踏まえた^ふ
- ・^{とりくみ} 取組^{けんとう} の検討
- ・^{がいこくじん} 外国人を雇用する企 業^{こよう} や支援機関^{き ぎょう} との連携^{し えん き かん}
- ・^{こうざい} (公財)大阪国際交 流^{おおさかこくさいこうりゅう} センターや市民グループ^{し みん} が持つノウハウ^も や資源^{し げん} の活用^{かつよう} の検討^{けんとう}

^{すいしんたいせい} 推進体制

^{きょういく い いんかい じ む きよく} 教 育委員会事務局、^{けいざいせんりやくきよく} 経 済 戦 略 局、^{し みんきよく} 市 民 局 を 中 心 に、^{か く く やくしよ} 各 区 役 所 や 関 係 部 局 と 連 携 ・ 協 力 し な が ら、^{かんけい ぶ きよく} 大 阪 市 ^{れんけい} ^{きょうりよく} ^{おおさか し}

^{た ぶん か きょうせい し さくすいしんほん ぶ} 多 文 化 共 生 施 策 推 進 本 部 の も と に「^{しきじ} 識 字 ・ 日 本 語 ^{にほんご きょういく} 教 育 施 策 推 進 部 会 ^{し さくすいしん ぶ かい}」を 設 置 し、^{せつ ち} 本 基 本 方 針 に 基 づ く ^{ほん き ほんほうしん} 取 組 を 推 進 ^{もと} ^{とりくみ} ^{すいしん}